

コリアン・マイノリティ研究会

第220回月例研究会

「大阪市多文化共生指針」と

「大阪府在日外国人施策指針(改正案)」を検証する

藤本伸樹さん(一般財団法人アジア・太平洋人権情報センター(ヒューライツ大阪)研究員)

大阪市は、1998年に策定し、2004年に改定した「大阪市外国籍住民施策基本指針」を一新し、2020年12月に「大阪市多文化共生指針」を策定しました。また、大阪府は、2002年に策定した「大阪府在日外国人施策に関する指針」を20年ぶりに改定するために、2022年12月8日に改正案を公表し、2023年1月6日まで個人や団体から意見を求めるパブリック・コメント(以下、パブコメ)を受け付けました。大阪府によると、改正案は、パブコメ、および2月の大阪府議会、3月の大阪府在日外国人施策有識者会議などを経て、3月末までにまとめられ、4月から新指針を施行する計画です。これら二つの指針改定の背景には、約20年前と比較して大阪府市における外国籍住民の増加や出身国、在留資格の多様化、および生活上の課題やニーズの多様化などがあげられています。

これまでの指針では、在日コリアンなど旧植民地出身者とその子孫、および中長期に在留する外国人住民をめぐる課題が多く盛り込まれていましたが、新指針ではそれら歴史的な課題が「薄まり」、新渡日の労働者や子どもに重心が移っています。少子高齢化が深刻化する日本社会において働いて経済を支えてくれる「外国人材」としての期待が透けて見えてきます。

外国籍市民も地域で暮らす住民として権利の主体であるはずなのですが、新指針(案)では、支援や福祉の提供を受ける客体としての扱いが目につきます。かつて議論されていた外国籍住民の「市政への参加」「公務員への採用」(外国籍教員の管理職への任用を含む)など「多文化共生」の根幹に関わる「参加」に向けた方向性が見えてきません。

二つの「指針」を手掛かりに、外国籍および外国につながる市民の人権保障と権利行使の実現のためにはどんな政策が必要かについて、ともに考えたいと思います。

【参考】●「大阪市多文化共生指針」<https://www.city.osaka.lg.jp/shimin/page/0000523890.html> ●大阪府在日外国人施策に関する指針の改正案に対する府民意見等の募集について(2022/12/8)<https://www.pref.osaka.lg.jp/jinken/yogo/gaikokujin/boshu2022.html> ●ヒューライツ大阪、「大阪市多文化共生指針(素案)」についてのパブリック・コメントを提出(2020/3/25)<https://www.hurights.or.jp/japan/news/2020/03/325.html> ●ヒューライツ大阪「大阪府在日外国人施策に関する指針」改正案に意見を提出(2023/1/4)<https://www.hurights.or.jp/archives/newsinbrief-ja/section1/2023/01/14.html>

日 時:2023年2月25日(土)17:00~19:00 終了後、懇親会(実費)

場 所:NPO 法人猪飼野セツPARAM文庫(大阪市天王寺区細工谷2-14-8)

近鉄「大阪上本町駅」から8分・地下鉄「谷町九丁目駅」・環状線「桃谷駅」から10分、環状線・地下鉄・近鉄「鶴橋駅」から15分

参加費:800円・会員600円・学生以下無料【要予約】090-9882-1663 masipon@nifty.com

主 催:コリアン・マイノリティ研究会(NPO 法人猪飼野セツPARAM文庫内)

<https://sepparam-bunko.jimdo.com>

3月以降:生野区新今里2-9-16 元辻本写真館

1軒丸ごと朝鮮/韓国/在日の図書資料でいっぱい! みんなの居場所・まちの人権図書館!

猪飼野セツパラム文庫



朝鮮/韓国/在日を知ろう!

이카이노 셋바람문고

古代大阪は上町台地を除き、ほとんどが海でした。その後、大阪の北と南を流れる淀川と大和川が土砂を運び、徐々に陸地になりました。船に乗って朝鮮半島からの渡来人も多くやってきました。

「猪飼野」は戦前戦後、東成区・生野区にまたがった地域の地名で、植民地期から在日朝鮮人の集住地域として知られました。しかし、1973年に町名改正で、地名としてはなくなりました。

また、1980年代から90年代にかけてこの付近には「猪飼野朝鮮図書資料室」「学林図書室」「青丘文化ホール」「カラ文化情報センター」など、朝鮮韓国在日に関する専門図書館等がありました。しかし、残念なことに、様々な事情でなくなってしまいました(現在も開館中の大阪市立生野図書館「韓国朝鮮図書コーナー」は充実しています)。そこで、この「猪飼野」に隣接し、古代からの陸地=上町台地の東の端にある天王寺区細工谷で、誰もが利用できる、新しいみんなのまちの人権図書館「猪飼野セツパラム文庫」(셋바람とは朝鮮語で「東風」を意味し、「新しい風」の意味も)を2015年5月に開館しました。“これからの、これまでの図書資料を100年残すために!” 2023年春に生野区新今里に移転します。みんなのまちの人権図書館を作っていきましょう。ご利用・ご協力をお願いします。

- 蔵書案内(編著者名を50音順で配架)どなたでもご利用いただけます。【入館・閲覧無料】
所蔵資料(日本語・朝鮮語・漢語)書籍・雑誌・チラシ・パンフレット・テープ・CD・DVD・ビデオ(未整理のもの多数)・民族団体・民族学校・運動団体関連資料・行政外国人施策関連資料・民族まつり/マダン関連資料・モノ
- 調査相談(レファレンス)サービス:朝鮮韓国在日についての本や資料の相談。
- 関連論文・卒業論文・修士論文・博士論文の収集。●チラシ・パンフレット収集・目録作成・データベース化。
- 「猪飼野アクセスマップ」(『季刊 Sai』vol.3,1992年掲載)の改訂作業。
- 各種講座・催しの開催:コリアン・マイノリティ研究会・「映像で見る朝鮮韓国在日」上映会・猪飼野ゼミナール・ワークショップ・猪飼野フィールドトリップ・朝鮮語=韓国語講座・手話教室・講師派遣・貸室・宿泊可。
- 関連情報「朝鮮韓国在日・これからの催し」毎週月・木2回配信。●書籍委託販売・古本販売・グッズ販売。

【会員登録】年会費:正会員 6000円・賛助会員 3000円・図書貸し出し会員 1000円 ★中学・高校・大学生は無料!大歓迎!(菓子・飲み物付き)

特典(貸出:会員限定。何冊でも可能な冊数・期間1ヶ月/関連事業参加費の割引/「これからの催し」配信)

※維持・運営のためのカンパをお願いします。【郵便振替】NPO法人猪飼野セツパラム文庫 00960-5-235693

※生野区新今里 2-9-16 への移転作業中です。【ゆうちょ銀行】〇九九(セッキョギョ)店(099)当座 0235693

NPO法人猪飼野セツパラム文庫 이카이노 셋바람문고

■開館:土曜日 14:00~18:00 来館前にご連絡ください。これ以外のご利用も対応可 ■入館無料

■〒543-0032 大阪市天王寺区細工谷 2-14-8 ■HP <https://sepparam-bunko.jimdofree.com/>

近鉄「大阪上本町駅」から8分・地下鉄「谷町九丁目駅」・環状線「桃谷駅」から10分、環状線・地下鉄・近鉄「鶴橋駅」から15分

masipon@nifty.com ☎090-9882-1663(藤井幸之助 / 同志社大学嘱託講師・文庫主宰・コリアン・マイノリティ研究会世話人)